

# トロイ年に沸く 神話に彩られた地

トルコに15カ所あるチッタスローの中で唯一の島、ギョクチェ島。  
現代社会に毒されていない素朴な地にはゆったりとした時間が流れる。  
島があるチャナッカレ県では今年、「2018年 トロイ年」に沸いている。

チッタスローとは、スピード重視の現代の価値観を見直し、地域独自のライフスタイルや文化・環境など多様性を重視した町づくりを指す。イタリアで発祥し、18年3月現在、世界30カ国で241都市が登録されている。トルコでは15カ所がリストに名を連ね、北エーゲ海に浮かぶギョクチェ島もその一つだ。

11年6月にチッタスローに登録されたギョクチェ島は、トルコ最大の島。約280km<sup>2</sup>の面積に約8800人が静かに暮らしている。町には古い建物がひっそりと佇み、郊外にはオリーブ畑や松林、羊や山羊が放牧された牧草地が広がるのどかな雰囲気が魅力だ。

夏はビーチリゾートとしてにぎわい、

ダイビングやドルフィンウォッチングなどが楽しめる。ギリシャの影響を受けたシーフード料理やコーヒーが地元の味。古い家を改装したブティックホテルなどもあり、まさにチッタスローが提唱するスローな滞在が可能だ。チャナッカレ港から高速船で約1時間、カバテベから連絡船で約2時間でアクセスできる。

## 世界遺産20周年で価値アピール

ギョクチェ島のあるチャナッカレ県の最大の見どころは、世界文化遺産のトロイ考古遺跡だ。世界遺産として今年で登録20周年を迎えることを記念し、トルコ文化観光省は18年を「トロイ年」

に定めた。トロイの文化的かつ観光素材としての価値をアピールするのが目的。日本でも、その歴史的・文化的価値をより広く浸透させていく意向だ。

トロイといえば、木馬と遺跡が思い浮かぶだろう。トロイの木馬とは、古代ギリシャの詩人、ホメロスの英雄叙事詩『イリアス』に出てくる巨大な装置のこと。トロイ軍とギリシャ軍の10年に及ぶ戦争で用いられ、この中にギリシャ軍の兵士が隠れて敵を欺いたことで、トロイ軍が陥落したとされる。

この伝説とされるトロイ戦争を信じ、この地で遺跡の発掘を行ったのがドイツ人の実業家、ハインリッヒ・シュリーマンだ。私財を投じ、長い時間をかけ



2 ヨーロッパとアジアの両方に接するエーゲ海とマルマラ海を結ぶダーダネルス海峡の入り口にあるチャナッカレ 3 2万1000ヘクタールにも及ぶカズダー国立公園 4 第1次世界大戦の戦地となったゲリボル半島 5 アテネ神殿のあるアッソスは、トロイ周辺にある古代遺跡の1つ 6 博物館は6月のオープンを目指して準備が進められている 7 1998年に世界遺産に登録されたトロイ考古遺跡 8 北エーゲ海に浮かぶチッタスローのギョクチェ島

てついに遺跡を発掘した。その後は考古学者による発掘も相次ぎ、紀元前3000～400年頃まで、9層（9都市）に及び積み重なった都市の遺構が発見されている。シュリーマンが掘り当てたのは第2市で、トロイ戦争よりはるか以前の時代だったという。だが、彼の発掘により、城壁や家屋、寺院、劇場などの遺跡が見つかり、トロイ戦争を記念して建てられたトロイの木馬は、この地を一大観光地として知らしめるに至る。

トロイ年の18年は、出土品を集めたトロイ博物館がいよいよ6月にオープンする予定だ。古代芸術都市、テフフィキエ村の入り口に位置する同館は、約3000m<sup>2</sup>の展示ホールに約2000点の出土品を陳列。世界各地に散った品も集められ、中にはギリシャ神話に登場する絶世の美女ヘレネの遺品とされる24の金のかけらも含まれる予定だ。かつてのトロイをアニメーションで再現したり、タッチスクリーンを用いて歴史を解説するなど、最新のテクノロジーも駆使する。

また、北西には第1次世界大戦の戦地となったゲリボル半島があり、トロイ博物館は平和記念の意味も併せ持つ博物館になる予定だ。トロイ戦争は米ハリウッド映画『トロイ』（04年）を、ゲリボルが舞台となった第1次世界大戦は『ディバイナー 戦禍に光を求めて』（14年、豪・米合作）を見るのがわかりやすい。同博物館には『トロイ』に出演した主演のブラッド・ピットやダイアン・

## ワインが美味しいリゾート、ボズジャ島

ギョクチェ島の南東にあるボズジャ島（Bozcaada）もまた、トロイ伝説にまつわるデスティネーションだ。ホメロスの叙事詩『イリアス』の中で「テネドス」の名で登場する。木馬に隠れてトロイに入ったギリシャ兵の合図で、テネドスに隠れていたギリシャ兵が大挙してトロイに向かったとされる。

周囲約38kmの小さな島に人口は約2700人。しかし夏になると約1万人の旅行者が押し寄せるリゾート地へと変貌する。透明度の高い海で泳げるのは5月末から10月中頃までで、ビーチにパラソルが連なる様は圧巻だ。視線の先には島のシンボルでもある城塞跡があり、それを望めるのがボズジャならではの風景となつて

いる。この島を有名にしているものに、ワインもある。ブドウの生産量が世界第6位のトルコにあって、ボズジャも島の3分の1がブドウ畑。島内には6つのワイナリーがあり、特にデザートワインが美味しいと評判だ。



赤い屋根と白壁の町並みが美しく、町の散策も楽しめる

# Gökçeada

ギョクチェ島



クルーガー、エリック・バナ、オーランド・ブルームなどが招かれており、初年度で100万人の来場が見込まれている。

なお、南東に位置するカズダーは、トロイ戦争の発端となったパリスの審判の地。世界初の女神コンテストが行われたことで知られるほか、トルコのウォーキングルート10選にも選出され、標高1774mのカズ山（イダ山）の麓に広がるカズダー国立公園からギョクチェ島に行くことも可能だ。トロイ神話に浸れる地としてたどってみるのもいい。



チッタスロー「スローシティ」の意。地域独自の生活・歴史文化や自然環境など多様性を重視した町づくり活動。

1 トロイ戦争でトロイ（イーリオス）を陥落させる決め手となった木馬のレプリカ



トロイ年を記念して作成された公式ロゴ

